

# (1) 県全体の農作物の被害状況について

むらづくり課

- 令和6年度の野生鳥獣による農作物被害額は、**6億8,249万円**で前年度より**約1億4,500万円増加(前年度比+27%)**している。(図1、表1)
- 前年度と比べ、**イノシシ、カモ類、ヒヨドリ**による被害額が**約1億5,000万円増加**し、**シカ、サル**などで**約1,600万円減少**している。(図1、表1)
- 鳥獣種別の被害額は、**イノシシ**が全体の約51%、次いで**ヒヨドリ**が約12%、**カモ類**が約10%を占めている。(図2)
- 作物別では、**果樹**の被害額が全体の約36%、**野菜**が約30%、**米**が約24%となっており、前年度と比べ、**野菜、果樹、米の被害額がともに増加**している。(図3)

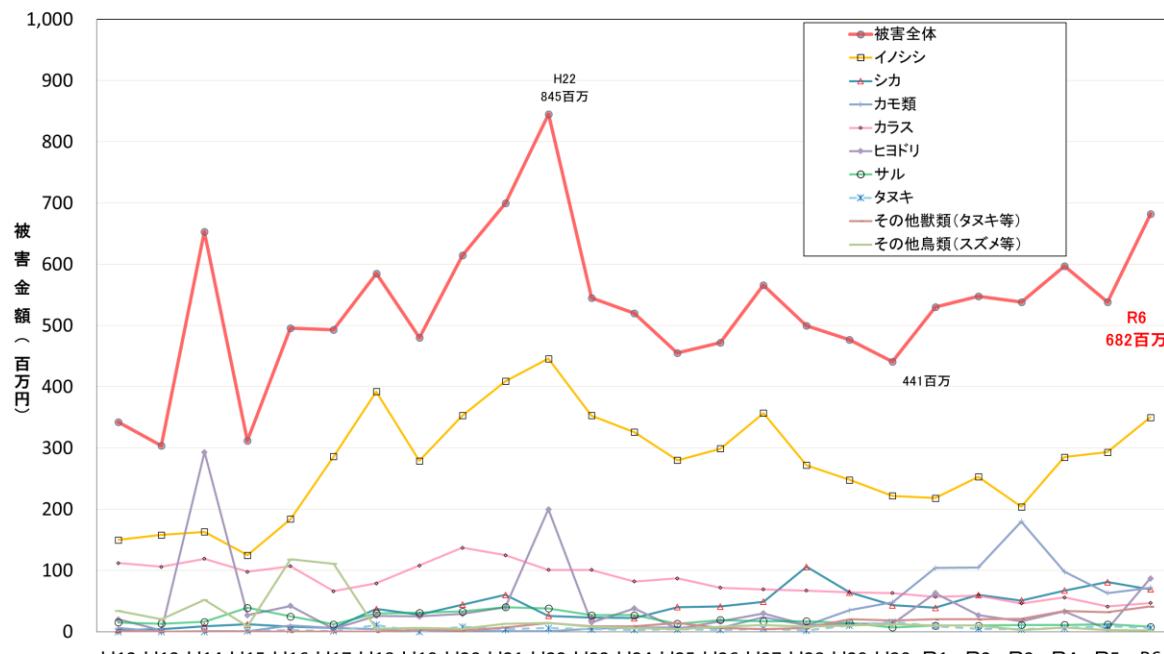


図1 被害額の推移

表1 令和6年度被害額

青文字: 減少、赤文字: 増加

項目	被害額	対前年度比	前年度からの増減額
<b>全 体</b>	<b>6億8,249万円</b>	<b>127%</b>	<b>約14千5百万円増加</b>
<b>イノシシ</b>	<b>3億4,958万円</b>	<b>119%</b>	<b>約5千7百万円増加</b>
<b>カモ</b>	<b>7,188万円</b>	<b>115%</b>	<b>約9.3百万円増加</b>
<b>ヒヨドリ</b>	<b>8,744万円</b>	<b>2033%</b>	<b>約8千3百万円増加</b>
<b>カラス</b>	<b>4,654万円</b>	<b>113%</b>	<b>約5百万円増加</b>
<b>シカ</b>	<b>6,939万円</b>	<b>86%</b>	<b>約1千1百万円減少</b>
<b>サル</b>	<b>781万円</b>	<b>64%</b>	<b>約4.4百万円減少</b>
<b>タヌキ</b>	<b>627万円</b>	<b>74%</b>	<b>約2.3百万円減少</b>
<b>その他獣類 (アナグマ等)</b>	<b>4,117万円</b>	<b>127%</b>	<b>約8.7百万円増加</b>
<b>その他鳥類 (スズメ等)</b>	<b>242万円</b>	<b>86%</b>	<b>約0.4百万円減少</b>

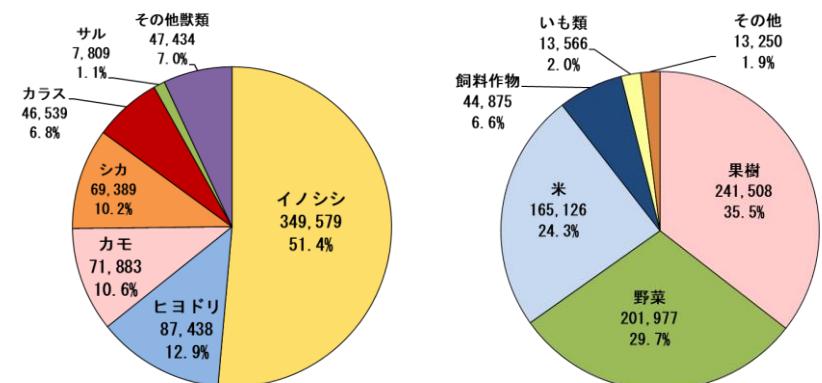


図2 鳥獣種別被害額(千円)

図3 作物別被害額(千円)

## (2) 地域別の被害状況について

むらづくり課

- 地域別では、八代地域の被害額が県全体の約16%を占め、芦北、玉名地域が約12%、宇城地域 が約11%を占めている。
- 被害額は前年度と比較して、熊本地域以外の10地域で増加した。
- **八代・芦北地域でヒヨドリの被害額が大きく増加した。また多くの地域でイノシシの被害額が増加した。一方、多くの地域ではシカ、サルの被害額は減少した。**

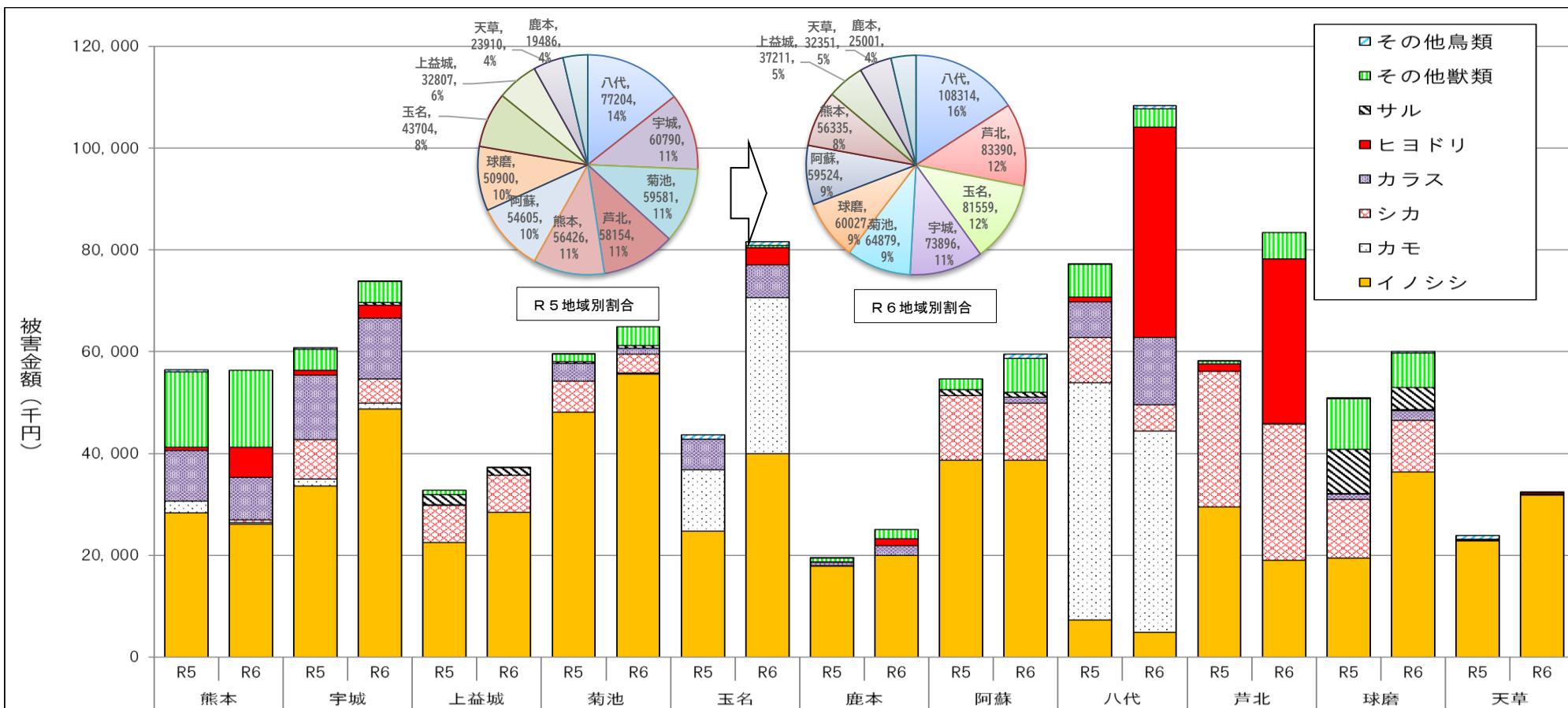


図4 地域別での被害額の推移(令和5年度→令和6年度)